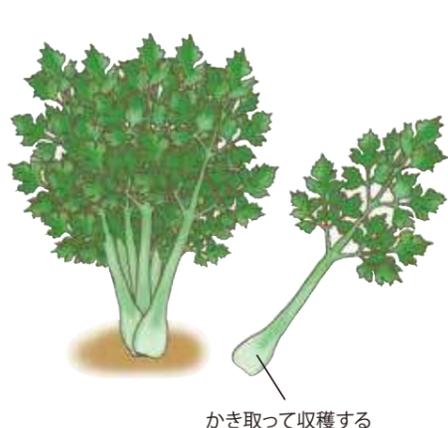


さ15cm程度のうねを作ります。うねをしつかり湿らせてからマルチを張りまします。夏の栽培なので白マルチや銀マルチにするか、株元にわらを敷いて黒い部分を隠しましょう。

株間は45cmにして、根鉢を崩さないように深植えしないように気をつけながら定植します。



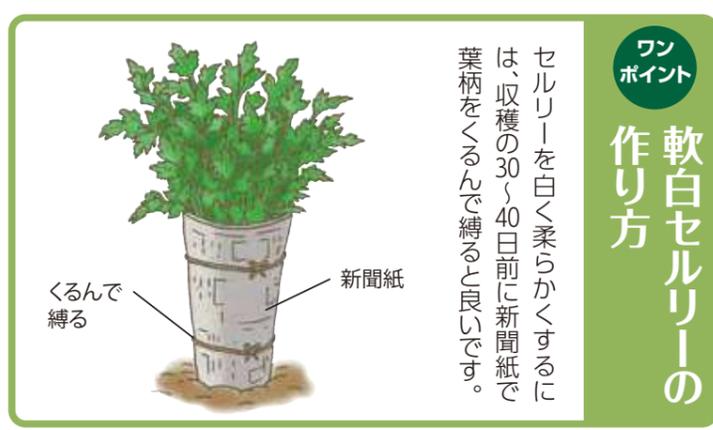
定植後1カ月半〜2カ月で収穫です。1株抜き取って収穫しても良いですが、外側から食べる分だけの茎を切り取ることが出来ます。その場合は、常に葉を10枚以上残しておきましょう。

収穫

管理

防虫ネットをかけておく。アブラムシなどがつきにくくなります。暑さよけに黒の寒冷紗や遮光ネットも使うと良いでしょう。雨が無いようなら水やりをします。

追肥は定植後3週間おきにやります。株間に穴をあけて施します。黄色くなった葉やわき芽はかき取りましょう。



ポイント 軟白セルリーの作り方

セルリーを白く柔らかくするには、収穫の30〜40日前に新聞紙で葉柄をくるんで縛ると良いでしょう。

おすすめ資材

「有機由来のカキガラ石灰」10kg 798円(税込)

広島湾のカキ殻を原料とした粒状肥料。作物に必要なミネラル(微量元素)を含みます。施肥後すぐに種まき、植え付けができます。

○お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までどうぞ。
※店舗によってはお取り寄せになる場合がございます。



ほうさくClub! に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

- ◎中央店 ☎29-8177
- ◎東部店 ☎62-0665
- ◎西部店 ☎22-4091
- ◎さなだ店 ☎72-9030
- ◎まるこ店 ☎42-2977
- ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
- ◎しおだ店 ☎39-8118



ほうさくClub!

第237回
今月は

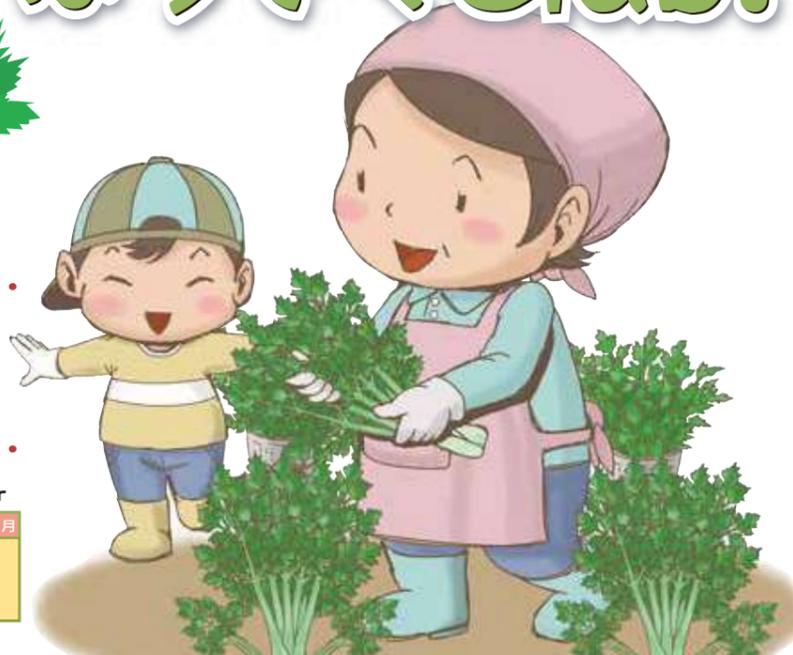
「セルリー」に挑戦! (セロリ)

★これがセルリーのスケジュールだよ。 Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			種まき				定植			収穫	

- 施肥基準 (1㎡あたり一例)
 - 苦土石灰100g
 - BBN552号100g
 - 堆肥4kg
 - BB追肥N30号30g×2〜3回

⚠ 文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類に対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



育苗

好き嫌いがある野菜の代名詞にもなっているセルリー。独特で爽やかな香りの向こうに感じる甘みが魅力的です。特に採れたてのセルリーはとってもみずみずしくて最高! 生をかじるのはもちろん、煮込み料理も炒め物も漬け物にも大活躍です。

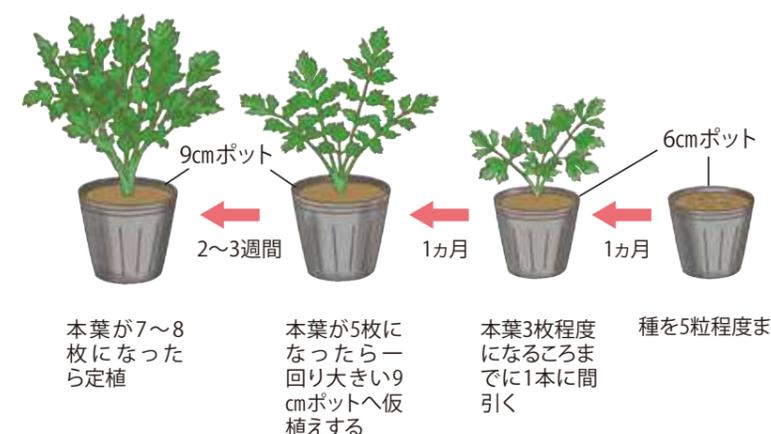
JA長野県は「セルリー」の名で扱っています。「セロリ」の方が一般的な気がしますが、明治時代に松本市で栽培が始まった当初から、生産現場ではセルリーと呼んでいます。生産量は長野県が日本一。それも、原産がほとんどを占めます。

育苗期間が非常に長く、種まきから定植まで2〜3カ月かかります。発芽適温は15〜20度。それより寒くても暑くても発芽率が悪くなるので、春が種まきの時期になります。しかし、生育中の温度が25度以上だと育ちにくくなるので、春の段階で苗が入手できれば栽培は楽になります。

6cmポットに育苗用の土を入れ充分に湿らせておきます。5粒程度まき、ごく薄く土をかけ、手のひらで押さえまします。発芽まで10日くらいかかるので、乾かないように注意しましょう。不織布や濡れた新聞紙を被せておくのも良いですが、発芽したらすぐに取り除きます。1カ月ほどして本葉が3枚程度になるころまでに1本に間引きします。さらにも

畑の準備・定植

セルリーは肥料食いといわれます。肥料も必要ですが、たっぷり堆肥を入れて土を作っておきましょう。定植の2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料をまいて耕します。幅60cm、高



う1カ月して本葉が5枚になったら一回り大きい9cmポットに肥料入りの土を入れて仮植します。2〜3週間して本葉が7〜8枚になったら定植です。